

奄美市SDGs推進プラットフォーム 第5回ワークショップ報告

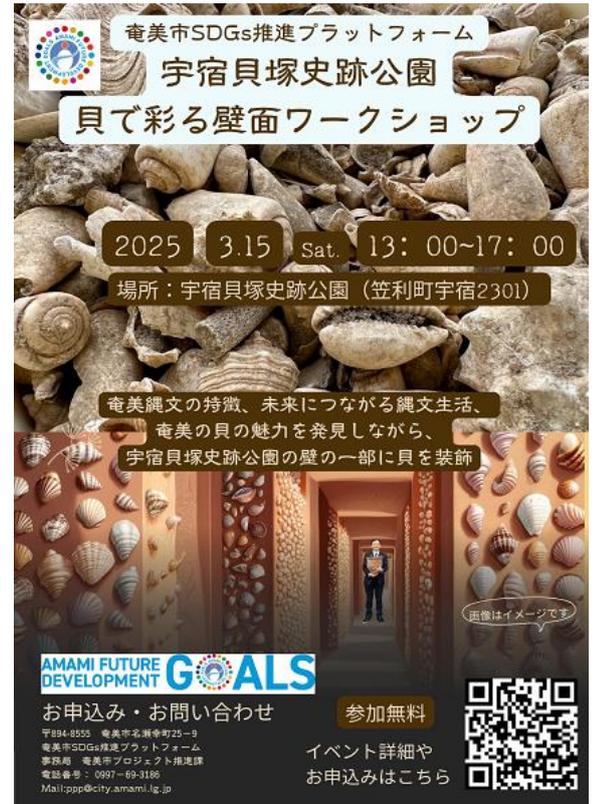
宇宿貝塚史跡公園 貝で彩る壁面ワークショップ

日時：令和7年3月15日（土）
13:00～16:30

場所：宇宿貝塚史跡公園（奄美市笠利町宇宿）

参加者：25名

テーマ：奄美縄文の特徴、未来につなげる縄文生活、奄美の貝の魅力を発見しながら、宇宿貝塚史跡公園の壁の一部に貝を装飾



①宇宿貝塚の説明、宇宿貝塚史跡公園の説明、縄文の特徴、奄美縄文の説明を奄美市文化財課学芸員の喜友名正弥より行った。参加者は初めて施設に来る方がほとんどだったので、奄美縄文の特徴や施設のPRにつながった。

②宇宿貝塚とSDGsについて、現在のプロジェクトを説明した。

- ・奄美の自然共生の源流は、縄文時代にある
- ・縄文の思想哲学に基づく行動様式が、奄美の暮らしを作った
- ・海や河川の近くに石組の竪穴建物を建てて定住生活をしていた
- ・珊瑚礁の恩恵を受けて漁労を盛んに営み、狩猟や採取を組み合わせていた
- ・骨や貝殻で文様を刻んだ土器を作って、食糧の調理や貯蔵を行っていた
- ・貝製品、骨製品、石製品を作って、暮らしの中で活用していた
- ・九州や沖縄と関係性を築いて、継続的に交流・交易をしていた
- ・縄文の思想哲学に基づく行動様式が、サステイナブルな暮らしをつくる
- ・ビジネスのあり方に「縄文型」を取り入れる
- ・宇宿貝塚周辺にも多くの縄文が息づいている
- ・縄文から現代に引き継がれる奄美の大自然を体感する
- ・縄文のスイッチをONにして、サステイナブルな奄美の未来をつくる

③ワークショップは、貝装飾班と施設案内班の2班に分かれ交互に行った。

参加者は、家族連れや旅行者の方で、子どもから大人まで学べ、楽しめるワークショップとなった。

★宇宿貝塚の概要説明

講師：奄美市文化財課 喜友名正弥

★宇宿貝塚とSDGsについて

講師：奄美市プロジェクト推進課 中江 康仁



★ワークショップへの準備

壁への貝装飾下作業（株堀陶石）



★ワークショップ①

施設見学

講師：奄美市文化財課 喜友名正弥



★ワークショップ①

壁への貝装飾

講師：(株)堀陶石

奄美市プロジェクト推進課 小林 千香子



